



心と心でつながる、世界に開かれたふくしま



GYRO

FIA MAGAZINE



ジャイロ

VOL.
118

平成27年3月号

ジャイロスコープ（羅針盤）の名称をとって、広報紙「ジャイロ」の名称としています。

CONTENTS

- P.3 福島から世界へ!
ミラノ・コレクションに出展して
～宮森佑治さん（デザイナー）～
- P.4 Voice from Foreigners in Fukushima
～信濃満枝さん（ブラジル出身）～
- P.5 事業Report
～平成26年度国際理解出張講座～
- P.6-7 FIA Information

コラム

〜ちよつと意外な!?台湾の電車事情〜

（曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室スタッフ）

陳 盈澄さん

Interview with Foreigners

P.1



蓮池潭(高雄市)

Interview with Foreigners

陳 盈澄(チン・インズミ)さん



震災から丸4年が経過しました。道路や建物等ハード面で着実に復興が進んでいる一方で、心の面ではまだまだ課題が残されています。今回は、曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室スタッフとして活躍している福島市在住、台湾出身の陳盈澄さんにお話を伺いました。



- ・台湾（高雄市）出身
- ・曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室スタッフ
- ・福島市滞在歴 2年8ヶ月

現在に至るまで

私の父は日本人、母は台湾人で、私は台湾で生まれました。小学校卒業までは日本と台湾での生活が半々で、中学2年生からは日本に住んでいます。東京に住んでいましたが、夫の仕事の都合で平成24年に福島に来ました。現在は、曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室スタッフとして、県内外の仮設住宅を訪問し、傾聴ボランティアを中心とした支援活動を行っております。具体的には、一緒にお茶を飲みながら話を聴き、震災によりストレスを抱えている被災者に心休まるひと時を過ごしてもらう活動です。話を聴く中で、被災者のニーズを把握し、地域の社会福祉協議会に報告することで、被災者の衣食住など生活全般の現状改善に寄与することも目的としています。

仕事について

支援活動には全国から人が集まるため、私自身が直接活動に参加するほかに、コーディネート業務も行います。当初はこうした活動が押しつけがましいものではないのか、一方的なものではないのか、といった戸惑いが自分の中にはありました。それでも、被災者の方々の話を聴いたり、一緒にイベントを実施したり、活動を継続していく中で、次第に、少しでも被災者の方々の力になればという思いややりがいを感じるようになってきました。



将来の展望

日本では、若者の内向き志向が叫ばれていて、もったいないことだと思います。昔と比べ今ではインターネット等が発達しているため、自分でわざわざ足を運ばなくても世界のことがわかる時代になりました。それでも、一度海外へ出て、外から日本を見ることには意義があります。たとえ自ら海外に出なくても、地域の国際交流団体や外国人コミュニティと接することはできると思います。

将来、私は日本でも台湾でも他の国でもよいのですが、日本語を教える仕事に携わりたいと思っています。そのために、日本語教師養成講座も修了しました。日本語教師という職業は決して簡単なものではありませんが、まずは、ボランティアベースでもよいので、一歩ずつ取り組んで行きたいと思っています。



仮設住宅での支援活動

日本で生活して

台湾と比べると、日本は朝が早く、勤務時間も長いです。そして、一般によく言われることかもしれませんが、時間にも厳格です(笑)。それでも、福島は東京よりもよい意味でのんびり感、ゆったり感、人の温かみといったものを感じています。

私は日本での生活が長いですが、台湾が恋しくなることもあります。特に恋しいのは、屋台です。日本人は、屋台で食事をするのはあまりないと思いますが、台湾の屋台は気軽に行き食事ができるとても身近な存在です。一年に一回は台湾に帰り、親類の家を訪ね、台湾の生活に浸ってきます。また、台湾人の日本への憧れは強く、例えば、年末はテレビで「紅白歌合戦」を見ています。日本に行くこと、日本で働くことがステータスという風潮があります。



高雄市の街並み

Column

コラム

ちょっと意外な!? 台湾の電車事情



「日本の電車は時間がとても正確」、というのは世界でも有名な話ですが、台湾のちょっと意外な電車事情について、陳さんに教えてもらいました。まず、台湾では、電車の中での飲食は厳禁で、違反すると罰金が科せられます。車内をきれいに維持するためのルールで、広く守られているということですが、日本人から見ればちょっと厳しいかもしれません。

また、駅のプラットフォームには複数台のテレビが設置されており、乗客はそのテレビを見ながら電車待ちをしています。さらに、プラットフォームには線で区切られた女性乗客用の優先スペースがあり、そのスペースを監視するための防犯カメラも設置されているそうです。日本とはまた違った防犯対策です。私たちの生活では当たり前の電車事情も、国が変われば様々な違いがあるようですね。



Report

福島から世界へ!

ミラノ・コレクションに出展して

～宮森佑治さん(デザイナー)～

南相馬市に店舗を構える「ArtyJUNGLE」のオーナーでデザイナーの宮森佑治さんは、イタリア・ミラノで開催されるファッション界で世界的権威のある新作発表会「ミラノ・コレクション」に出展しました。南相馬から世界へ…、宮森さんにお話を伺いました。

出展に至るまでについて教えてください

震災による住民の避難等の影響により、お客さんが減ったので、販路の拡大と客層を広げていくということを常々意識していました。今回は、国内の展示会での審査を経て出展が決まったわけですが、この展示会への出展は初めてでした。現在は仙台の店舗にも商品を卸していますし、常に新しいことに取り組んでいこうと強く思っています。

出展の様子について教えてください

今回は、広いアリーナのような会場に200近くのブースが設けられ、そこに各出展者が服を展示しました。ヨーロッパからの出展が多く、日本からは私を含め4人が出展しました。各ブースでは、バイヤー、メディア、スタイリストといった人たちに対して、展示した服の販売や取材対応等が行われますので、自分が制作した服をアピールするよいチャンスになります。

私が感じたことは、ヨーロッパと日本では人気のある服が違うということです。ヨーロッパでは、どちらかというときらびやかな感じの服が多く、私の服にあるようなマットな(落ち着きのある)色は、まだ使われ始めたばかりのようです。そのため、うまくアピールができれば売れるかなという予感もします。私の服は、比較的ロシアのバイヤーからの評判がよく、「日本のものづくり」と称賛されました。ロシアでは日本の文化がブームという話も聞いたことがあるので、そうしたことが影響したのかもしれませんが。



福島市出身。県内の専門学校を卒業後、デザイナーのアシスタントとして経験を積み、2005年、南相馬市に「ArtyJUNGLE」を設立。縫製工場が多いという立地的なメリットを生かしつつ、南相馬市で人気がある、かつ、素材のよさを引き出したデザインを重視している。

出展して思うこと・今後の展望について教えてください

今回の出展を機に、私がどんなことをやっているかここ南相馬でも、少しはわかってもらえたかなと感じています。縫製工場が多い、つまり、作る場所があるという利点を生かし、ものづくりのために人が集まってくれればと思います。例えば、梁川のニットのように、福島は各地に地元の産業が根付いていますので、私も他の方とのコラボレーションにより、新しいものづくりの文化を創っていきたくと考えています。



「ArtyJUNGLE」のブース

ESSAY

Voice from Foreigners in Fukushima

信濃満枝さん(フラジル出身)

昨年の3月に北海道から福島に引っ越して来ました。南の暖かい所へ引っ越すのを楽しみにしていましたが、福島に到着すると吹雪の歓迎を受けとても寒かったので、「だまされた…」と思ったのが最初の思い出です。

4月からは、桜の名所、桃やりんごの花、水田に映る吾妻小富士を見ながらドライブを楽しみました。その際、道の駅や農産物直売所で、北海道には無かった野菜、果物、お菓子などを探すのも、もう一つの楽しみでした。

「北海道は広くて、観光地もたくさんあって良いですね」と時々言われますが、北海道は広すぎてどこへ行くにも1日がかかり、あるいは一泊旅行になります。福島市は市内に温泉街が三つもあるし、ちょっとドライブすると、海、湖、鍾乳洞、山など、どこへでも行けます。今年は登山をしなから福島の野鳥や草花の観察をしたいと思います。

Vim de Hokkaido para Fukushima em Março do ano passado. Estava ansiosa pela mudança para o sul, para um lugar mais quente, porém chegando aqui, pensei: "fui enganada", pois fui recebida com tempestade de neve e muito frio.

A partir de Abril, fiz passeios de carro visitando cerejeiras famosas, apreciando pessegueiros e macieiras em flor e o Monte Azuma-Kofuji refletido nos arrozais. Estes passeios tinham parada obrigatória nos Michi-no-Ekis e pontos de venda de produtos agrícolas à

procura de verduras, frutas e guloseimas típicas da região.

As pessoas me dizem: "Hokkaido é bom porque é grande e tem muitos pontos turísticos". Mas como Hokkaido é grande, para visitar um local se gasta um dia inteiro ou até é necessário pernoitar, enquanto que aqui na Cidade de Fukushima tem três estações de águas termais; e com um gostoso passeio de carro, logo chega-se ao mar, aos lagos, à caverna, às montanhas etc. Este ano quero escalar montanhas para observar os pássaros e as plantas nativas de Fukushima.



福聚寺(三春町)



家の近くから見た吾妻小富士



幕滝(福島市)

Report

事業レポート

～平成26年度国際理解出張講座～

当協会では、平成14年度より、環境、人権、貧困、多文化共生など様々な地球規模の課題をテーマに、ワークショップ型の出張講座を実施しています。毎年、県内各地の学校や公民館、その他の様々な団体約50か所から依頼があり、合計約3,000人が受講しています。

今年は、下記の6つのプログラムを実施しました。

外国人とトモダチ

韓国や中国、イギリスなど様々な国の出身者が、写真や工芸品を示しながら母国の文化を紹介した後、ゲームをしながら、参加者と交流を深めました。

違って当たり前～異文化理解のために～

人と話す際、相手の目を見て話すか、ジェスチャー交じりで話すか、自分とは違う方法で話しかけられたらどう思うか、実際に話し方を体験しながら異文化理解の方法について学びました。

じゃがいも君とお話～偏見って何？～

じゃがいもを一つ一つよくよく見ると、形、大きさ、芽の出ている所など、何一つ同じものがないように、普段何気なく「外国人」とひとくくりにしていますが、人それぞれ違うことを学びました。

もし世界が100人の村だったら

世界の人々の状況を参加者に置きかえると、英語を話す人は、文字が読める人は、十分な栄養が取れている人は何人いるか…、世界の現状を体験的に学びました。

これってアリ？～常識と非常識～

エルサルバドルの市場では鶏が生きたまま売られている、西サモアの公共バスでは混んでくると座っている人の上に人が座る…、このような世界の多様な常識を題材に、異文化について理解を深めました。

写真で学ぼう、世界の食卓

世界各国の家族と1週間分の食材の写真を見ながら、日本でも見かける食材かどうか、肉や加工品の占める割合など、様々な特徴を見つけ出しながら、食文化の多様性について理解を深めました。



国際理解出張講座実施団体募集中

当協会では、異文化理解、人権、貧困など世界規模の課題について、クイズやゲーム、グループディスカッションなどを通じて体験的に学ぶ講座を、県内各地へ出向いて実施しています。学校の授業、公民館・大学の講座、イベント、企業の研修など様々な機会にご活用ください。詳細は福島県国際交流協会までお問い合わせください。



ふくしまユースグローバルカレッジ 2015の実施

私たちが暮らしている世界には、様々な文化が存在し、一方で環境、人権、貧困、紛争など様々な世界規模の問題を抱えています。このカレッジでは、模擬体験と話し合いなどのワークショップによって、これらの問題について理解を深めます。詳細は、当協会HPでお知らせいたします。



「外国出身者コミュニティ・キーパーソン」紹介ページの開設

外国出身者が主なメンバーである団体や、外国出身者同士の繋がりで中心的な存在の方々をご紹介するページを新たに開設しました。下記のURLよりご覧いただけます。

■URL:
<http://www.worldvillage.org/kouryu/keyperson.html>



情報発信のご案内

当協会では、Twitter(ツイッター)とFacebook(フェイスブック)による情報発信を行っております。主催イベントに関するお知らせや、福島県内の国際交流・国際協力に関する様々な情報などを発信しておりますのでご覧ください。また、平成27年度より新たにスマートフォン専用ページを開設する予定です。

- ツイッターページ
http://twitter.com/fia_info
- フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/fiainfo>



私たちは、賛助会員(団体)として協力しています。

(平成26年9月~12月末受付分)


会津喜多方国際交流協会

福島県市長会

にほんまつ地球市民の会


福島県商工信用組合

日本赤十字社福島県支部

 MCS 株式会社 本宮会計センター

ふくしま・ベトナム友好協会

 福島民報社
<http://www.minpo.jp/>

 株式会社 小野屋漆器店

法務大臣告示校:福島日本語学院

吉野建設株式会社

(公財)AFS日本協会 福島支部

 FSGカレッジリーグ

ふくしま子どもの日本語ネットワーク

会津坂下町国際交流協会

福島県国際理解教育研究会

あづま脳神経外科病院

公益財団法人福島県産業振興センター

南相馬市国際交流協会

田村市国際交流協会

郡山ユネスコ協会

(公財)福島県国際交流協会は次の基本理念の下に活動しています

心と心でつながる、世界に開かれたふくしま

このグローバル社会において、本協会は、これまでの国際交流活動を礎に、県民と多様な価値観と言語を持つ世界の人々が、真に対等で良好な関係を築きながら、地域の活力につながる、世界に開かれた福島県の実現をめざし、様々な事業に取り組みます。

—基本方針—

- 1 世界に開かれた県民意識の向上を推進します
- 2 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりを推進します
- 3 多様な関係団体と連携した国際交流活動を推進します
- 4 世界に向けて福島を発信します (第4期運営基本計画より抜粋)

賛助会員を募集しています

当協会は、国際交流を通じて地域の活性化とより豊かな県民生活を実現するため、様々な事業を行っています。当協会の趣旨に賛同し、会費という形で当協会の活動をサポートしていただく「賛助会員」を募集しています。

■年会費

個人会員 3,000円/口

団体会員 10,000円/口

■振込先/公益財団法人 福島県国際交流協会

郵便局口座[02130-2-15560]

■会員の特典

①当協会主催事業をはじめとした国際交流・協力に関わる様々な情報を掲載した広報紙Gyro(年3回発行)をお届けします。

②当協会主催事業の参加費、当協会研修室使用料の会員割引が受けられます。

③当協会所蔵の書籍や資料、ビデオを無料で借りることができます(一部貸出しできない本もあります)。

④団体会員については、広報紙Gyroで団体名をご紹介します。

■所得控除

当協会への賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

外国出身者のための相談窓口

当協会では、外国出身者のための相談に多言語で対応しています。相談は電話と面談で行います。秘密は厳守しますので、安心して相談してください。なお、相談はカウンセリングとは異なり、相談者の自己決定・自己選択を前提とし、様々な情報や選択肢を提供するものです。

■英語・中国語・日本語

火曜日～土曜日 9:00～17:15

■タガログ語・ポルトガル語・韓国語

木曜日 10:00～14:00(但し、第4・5木曜は事前予約が必要)

相談専用: TEL 024-524-1316

FAX 024-521-8308

E-mail ask@worldvillage.org

寄附金を募集しています

当協会では、県民の国際交流に関する幅広い分野の活動を促進することにより、世界の人々との友好親善と相互理解を深めるとともに、多文化を持つ県民がともに生きる活力ある地域及び豊かな県民生活の実現に寄与する事業を行うため、皆様からの寄附金を募集しております。

寄附をしていただける方は、所定の「寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、持参、メール、ファックス又は郵送にてお申し込みください。申込書を受領後、振込用紙をお送りいたします。詳細につきましては、当協会HPをご参照いただくか、直接お問い合わせください。

FIAメールマガジン登録のご案内

当協会では、福島県内外の国際交流団体が実施するイベントや国際交流に役立つ情報などを提供するメールマガジンを月2回発行しています。登録・購読は無料です。購読をご希望の方は、当協会HPからご登録いただけます。皆さまのご購読をお待ちしています。

■登録方法

当協会のHPのトップページにあるメールマガジンのバナーをクリックし、メールマガジンサイトにある入力フォームに、登録したいアドレスを入力してください。登録後に仮完了となり、アドレスに認証メールが送られてきます。認証URLをクリックして、登録を完了させてください。

公益財団法人 福島県国際交流協会

TEL:024-524-1315

FAX:024-521-8308

E-mail: info@worldvillage.org

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1

福島県庁舟場町分館2階

公益財団法人福島県国際交流協会内



*福島駅東口より徒歩20分